

広島県

ひがしひろしましりつとよさか

東広島市立豊栄小学校

## 豊栄町ふるさと大好き体験隊～里山の宝物を守る～

オオサンショウウオ生息の保全について考え実践することを通じて、ふるさととの環境についての「今」（良さと課題）を知り、整理し、ふるさととの未来を創る（課題解決をして、成果を地元の人たちと共有する）意欲と実践力を高めることを目指している。平成 27 年度となる現在は、新 4 学年児童が、校内の他学年、中学校、町内の大人に向けて研究発表を行い、オオサンショウウオが生きていける環境の保全について考えてくれる人を町内に増やすことに取り組むなど、「多角的に物事を捉えてて検討し、解決方法を探る」という姿勢が定着してきている。



# 「2015 こどもホタレンジャー」

## 活動報告用紙

※この用紙には、先生や団体の代表者の方が記入してください。

① 団体名 (学校、企業、NGO/NPO等)	よみがな ひがしひろしましりつとよさかしょうがっこう 東広島市立豊栄小学校		
② 代表者ご連絡先	氏名		よみがな
③ 活動名「タイトル」	とよさかちょう だいす たんけんたい さとやま たからもの まも 豊栄町ふるさと大好き探検隊 ～里山の宝物を守る～		
④ 活動場所	広島県東広島市立豊栄小学校及び豊栄町内を流れる川（椋梨川・三篠川・吉原川）		
⑤ 今回活動した こどもの学年・人数	小学校第4学年16人、第5学年21人		
⑥ 活動期間	2014年5月1日 ～ 2016年3月31日	継続年数	2年
⑦ おもな受賞歴	なし		
⑧ 団体（学校・企業・NGO/NPOなど）の紹介（400字程度で簡潔に）			
<p>豊栄小学校は、豊栄町のほぼ中央にあります。豊栄町は広島県の中央「へそ」にある町で、3つの川が生まれる「みなもと」の町で、瀬戸内海に注ぐ川と日本海に注ぐ川がある「分水嶺」になっています。川の中には水中生物の生態系の頂点に君臨する特別天然記念物のオオサンショウウオが泳ぎ、空には絶滅危惧種の美しい野鳥ブッポウソウが飛ぶ里山が私たちのふるさとです。昔から、この地に住む人々は、今は希少生物となってしまったこれらの動物と友達のような付き合いをして生きてこられたそうです。今では、地元の人たちが市や県をリードする保護活動を展開していらっしゃいます。豊栄小学校の児童は、この町に暮らす自分を誇りに思い、この学校でしか学べないことがたくさんあることに感謝し、ふるさとの人たちとともに里山の宝物を守り、豊かに生きていく力をつけるよう、学びを進めています。</p>			

⑨ 活動の目的・概要（500字程度で簡潔に）	
報告するメインの取組に○を入れてください。	
<input type="radio"/>	水辺の生きものに関する観察・保全活動を通じた水環境保全の取組
<input type="radio"/>	河川など水辺における活動を基本とした水環境保全の取組
<input type="radio"/>	いなくなった水辺の生きものを呼びもどすことを通じた水環境保全の取組
<input type="radio"/>	水循環を視野に入れた山や海での水環境保全活動
<p>オオサンショウウオ生息の保全について考え実践することをとおして、ふるさとの環境についての「今」（良さと課題）を知り、整理し、ふるさとの未来を創る（課題解決をして、成果を地元の人たちと共有する）意欲と実践力を高めることを目指しています。平成26年度は、第4学年児童22名が「初代豊栄町環境問題探検隊」として、東広島市役所環境衛生部環境対策課と広島大学総合博物館による出前授業「川を通じて地域の環境をまなぶ」「里山のたからものオオサンショウウオの謎を探る！」を受け、現地観察会で川の生き物調査を行い、オオサンショウウオとふれあうことができました。その後児童は、それまでの学習のまとめとして豊栄町の川に関する環境問題を整理し、自分たちにできる保全活動は何かを話し合い、オオサンショウウオ生息地であることを知らせる看板作りを行ないました。平成27年度は、新4学年児童が、初代探検隊から活動を引継ぎ、前年と同名の出前授業を受け、県内外他地域の保全取組みを調べ、豊栄町の問題の特徴を整理し、自分たちにできる保全活動を考えました。その結果、現在、校内の他学年、中学校、町内のおとなに向けて研究発表を行い、オオサンショウウオが生きていける環境の保全について考えてくれる人を町内に増やすことに取り組んでいます。</p>	

⑩ 活動の内容について、流れがわかるように記入してください。

なおその際、活動の成果（調べた内容や達成した内容）も写真やイラストなどを可能な限り添付（又は送付）して、可能な限り具体的に記載してください。

### 1 活動への取りかかり（平成26年度）

(0) **出発点を確認** 5月29日

平成26年度の学校教育目標に沿って「総合的な学習の時間」を進めることを確認し、第4学年22名の「豊栄町環境問題探検隊」結団式を行いました。

その際、学校教育目標に照らしてみると、探検隊のミッション（使命）はどうなるかを確認しました。

- ミッション1：現状把握
- ミッション2：課題設定
- ミッション3：解決策検討
- ミッション4：解決策実施
- ミッション5：報告

探検隊の最初の仕事として、次時に実施する出前授業に向け、「豊栄の川について知っていること」「オオサンショウウオについて知っていること」を出し合い、探検隊の出発点をみんな確認しました。「近くの川はにごっている」「家の近くにオオサンショウウオの看板がある」など、普段見ているもののことが出されました。

#### 豊栄小学校4年生「総合的な学習の時間」

【今年度の豊栄小学校の目標】

- |           |   |                     |
|-----------|---|---------------------|
| ①チャンス！    | ➡ | ①難しい問題に出会っても        |
| ②チャレンジ！   | ➡ | ②解決するために<br>何かしてみよう |
| ③チェンジ！    | ➡ | ③一歩でも               |
| ④UP(アップ)！ | ➡ | ④前進する！              |

【総合的な学習の時間では】

4年生「総合的な学習の時間」では・・・

#### 「豊栄町 環境問題 探検隊」

〈総合的な学習の時間の進め方〉

#### 探検隊のミッション（使命）は？

・豊栄の自然は・・・

- |        |                        |
|--------|------------------------|
| ミッション1 | 今どうなっているの？（知る）         |
| ミッション2 | むずかしい問題とは？（知る・考える）     |
| ミッション3 | 問題解決のアイデアをひねりだす。（考える）  |
| ミッション4 | できることをしてみる。（やってみる）     |
| ミッション5 | 結果をみんなに知らせる。（伝える・つなげる） |

〈豊栄町環境問題探検隊のミッション（使命）〉

(1) **出前授業Ⅰ（講義）** 5月30日 **ミッション1：現状把握**

東広島市「生涯学習まちづくり出前講座」として、環境対策課の「川を通じて地域の環境をまなぶ」と広島大学総合博物館の清水則雄先生の「里山のたからものオオサンショウウオの謎を探る！」を受講しました。

豊栄町を流れる3つの川は、瀬戸内海に流れる沼田川・太田川、日本海に流れる江の川の源流であり、豊栄は分水嶺の町であることを教えてもらいました。水質のことも教わり、流れる水が生活排水で汚れることを教わり、「水を汚さないためにできること」を考えました。次回出前授業の「現地観察会」では、川の生き物採集をして、指標生物による水質判定をする予定だと聞きました。

また、オオサンショウウオは特別天然記念物で、生きた化石と呼ばれていることを教わり、調査する人たちは捕まえたオオサンショウウオにマイクロチップを打って調査していると聞きました。マイクロチップを打つ道具を見せてもらったり、番号を読み取るマイクロチップリーダーという機械を操作させてもらったりしました。家の近くにある看板に描かれ、家のすぐ近くの川にいるオオサンショウウオがそんなにすごい生き物だとは思っていなかったと驚く児童が多かったです。次回現地観察会では、運がよければオオサンショウウオを見ることができると聞き、期待がふくらんでいました。



〈環境対策課出前授業〉



〈広島大学総合博物館出前授業〉

(2) **学級での学習1・発信1** 6月末 **ミッション5：報告**

「取組みを始めたこと」を県内外へ発信するため、中国新聞からのお誘いで、記事を書いて「ちゅーピー子ども新聞」へ投稿することにしました。新聞記事の書き方を研究して、全員でそれぞれ原稿を書いてみました。1人の原稿が採用され、出前授業の様子の写真入りで新聞に掲載されました。



(3) **出前授業Ⅱ（現地調査）** 7月17日 **ミッション1：現状把握**

小学校の活動に賛同くださった地元企業がバスを手配してくださり、現地調査を行うことができました。

①「**棕梨川の生き物採集と指標生物による川の水のきれいさの診断**」授業（東広島市環境対策課）

1人1本ずつ網を持ち、川に入って生き物を採集しました。ボランティアの方に分類していただき、指標生物の表とあわせてみると、棕梨川の水は「『きれい』から『ややきれい』の間」と診断できました。



〈川の水の中の生き物採集〉



〈指標生物による水質診断〉

②「**オオサンショウウオの観察とふれあい**」授業（広島大学総合博物館）

生き物採集をした場所の近くにある堰のすぐ下にオオサンショウウオがいるのを見つけました。

ボランティアの方が捕獲したオオサンショウウオに、児童は観察したりさわったりしてみました。「かわいい」「きれい」という声がたくさん上がりました。また、身長・体重を計る体験もさせていただきました。オオサンショウウオに対する興味が一気に高まりました。

その後、広島大学総合博物館の先生が、オオサンショウウオが足の裏や頭にけがをしている理由について話してくださいました。繁殖期に、上流にある繁殖地を目指して川を上っていたのですが、農業用の堰のところで上ることができず、何度もずり落ちて傷ついたそうです。



〈オオサンショウウオの観察〉



〈体重測定を体験〉

(4) **出前授業Ⅲ（講義・演習）** 9月2日 **ミッション2：課題設定**

東広島市環境対策課と広島大学総合博物館が、現地観察会のまとめをしてくださいました。

①現地調査での「気づき」整理

児童が「感じ取ったこと」をどんどん付箋に書いて貼っていきました。

②保全取組みに向けた意欲の高揚

ブレインストーミングによりたくさんの案が出て、児童の保全への意欲が高まりました。



〈「感じ取ったこと」からアイデアへ〉



〈ブレインストーミング〉

(5) **学級での学習2** 9月12日 **ミッション2：課題設定**

◎豊栄町の環境の「解決困難な問題点」の整理【協議・検討】

市役所環境対策課と広島大学総合博物館から講義で示されたこと、現地調査で実際に見、触れ、感じたことを振り返り、「豊栄の現状と課題（解決困難な課題）」を整理しました。

農業の町「豊栄町」に必要な「せき」が、  
きれいな水を求めて川をさかのぼるオオサンショウウオの移動を妨げ、  
オオサンショウウオが繁殖できなくなっているようだ。

(6) **学級での学習3** 9月16日 **ミッション2：課題設定**

◎解決に向けたアイデア交流・絞り込み【協議・検討】

前の時間の課題設定を受け、次の時間から「わたしたちには何ができるのか」を考えていきました。

【解決策1】として児童が考えたのは、「『せき』をなんとかする」という方法でした。3つのアイデアが出されましたが、それぞれについて次のような協議・検討を行いました。

- (1) せきをなくす→農業ができなくなったり、大水が出て危険になったりするからできない。
- (2) 人間がせきの上に持ち上げる→自然の生き物の移動を人間の手で変えることには反対している人がいる。
- (3) スロープを作る→農業や安全面で最もよい解決方法だけど、よその土地に勝手に物を作ることはできない。  
お金もたくさんかかるし、今の私たちがすぐに取り組むのは難しい。

検討の結果、「スロープを作ることが、豊栄町にとってよい解決方法だが、4年生の私たちには実現が難しい」ということになりました。

【解決策2】として児童が考えたのは、「みんなにオオサンショウウオのことを知ってもらおう」ことでした。

オオサンショウウオのことをみんなが知り、保護しようとみんなが思うようになれば、オオサンショウウオの保護ができるようになると考えました。

みんなにオオサンショウウオのことを知ってもらうため、自分たちに何ができるか考え、10のアイデアが出ました。

◎オオサンショウウオのことをみんなに知ってもらうためにできること・したいこと

- (1) 看板を道に立てる。
- (2) ポスターやちらしを作る。
- (3) HPに記事をアップする。
- (4) テレビやラジオで放送してもらう。
- (5) 新聞に投稿する。
- (6) 地域の集まりで紹介する。
- (7) 全国大会で伝える。
- (8) ごみ拾いをする（ごみ拾いする姿が、自然保護の広告になる。）
- (9) グッズをつくる。
- (10) 議会にお願いする。

できることから取り組むことにしました。

(7) 発信2 9月27日 ミッション5：報告

◎取組みの中間まとめを全国へ発信

課題設定ができたところで、「日本オオサンショウウオの会全国大会」で発表する機会をいただきました。

会場は町内の豊栄生涯学習センターで、東広島市民は無料で参加できるとのことでしたので、地元の人にたくさん来ていただくために、全員でチラシを考えて作り、新聞に折り込み広告で入れました。

大会では、それまでしてきた「問題点の整理」と「今後の取組みへの決意」の内容で発表しました。当日は代表の10名がステージで「問題点の整理」を発表し、「今後の取組みの決意」は探検隊2人一人ひとりが、ビデオレターとして20秒ずつのメッセージを発信しました。



〈折り込みチラシ〉



〈日本オオサンショウウオの会での発表〉

(8) 発信3 11月26日・29日 ミッション5：報告

◎取組みの中間まとめを校内・保護者・地域へ発信

取組みを校内発表会（26日）で校内へ発信し、学習発表会（29日）で保護者と地域の方へ発信しました。

ともにスライドを使った発表を行い、学習発表会では、学習したことをまとめた手作りのパンフレットを配付しました。



〈学習発表会でのステージ発表〉



〈学習発表会で配付した手作りパンフレット〉

(9) 学級での学習4 1月29日 ミッション3：解決策検討

◎「課題解決への取組み」の具体案絞り込み

9月16日に考えた「10の取組みアイデア」のうち、できることに取り組んできました。そんな中、「東広島伝統文化応援プロジェクト活動助成金」をいただくことになり、オオサンショウウオの保全活動にその助成金を使うことができるようになったため、どう使うか話し合いました。

9月16日に考えているときには一番に出てきたアイデアだったのですが、お金がかかるため、それまでに取り組めていなかった「看板づくり」に取り組みたいということになりました。

(10) **学級での学習5** 2月13日 **ミッション4：解決策実施**

◎看板作りの「ねらい」確認

誰に、何を伝える看板にするのか、話し合いで確認し、看板作りに取りかかりました。

◎看板作りのねらい

○誰に：豊栄町の川のそばを通る人に

○何を伝える：ここ（豊栄町の川）にオオサンショウウオがいることを知らせる



〈看板の図の構成を考える〉



〈班で1つデザインを決める〉

(11) **発信4** 2月28日 **ミッション5：報告**

◎「地域の協力体制への感謝」を発信 「地域の方々に感謝する会」

平成26年度に、豊栄小学校の各学年の子どもたちの学習に助力・協力をくださった方々へ感謝する会を行いました。4年生児童は、東広島市オオサンショウウオの会、豊栄の自然を守る会、現地観察会でバスを手配していただいた地元企業の方、町内のオオサンショウウオに関する資料をくださった方等、環境保全学習への協力をくださった町の先輩方へ案内状を出しました。オオサンショウウオの縁で5名が来校してくださいました。協力してくださった方を保護者や地域の方へ紹介するとともに、感謝の気持ちを伝えました。



〈地域の方へ感謝する会〉



〈オオサンショウウオ関係でお世話になった方々〉

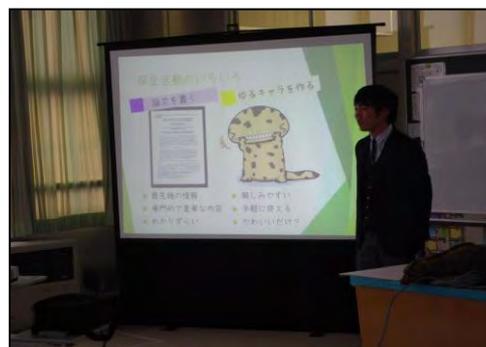
(12) **出前授業Ⅳ（臨時）** 3月10日 **ミッション4：解決策実施**

◎活動の価値付け

自分たちで考え、取り組んでいくこととした看板作りですが、実際に進めていくにあたり、「看板を立てることが本当にオオサンショウウオの保護のためになるのだろうか」、「いろいろな人の目に触れる看板を作るのに、いい加減なものをつくるわけにはいかない」など、少し自信のないところがありました。

そこで、東広島市環境対策課と広島大学総合博物館に相談し、出前授業の4回目として、絵のプロを派遣していただき、アドバイスしてもらうことにしました。

広島大学により派遣された講師は、昨年度まで広島大学大学院の学生だった山崎先生で、山口県から来ていただきました。



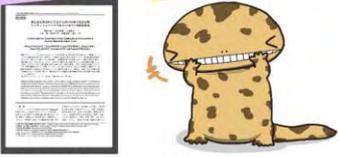
〈出前授業Ⅳ〉

山崎先生は、「看板作りは立派な保全活動・どんな看板を作るか?」と題して、次のようなスライドを使って、自身がしておられる保全活動を紹介しながら、児童の活動の意味づけをしてくださいました。

児童は、この授業を終え、自信をもって看板作りに取り組みました。

(山崎先生の授業資料から)  
保全活動のいろいろ

論文を書く      ゆるキャラを作る



- 最先端の情報
- 専門的で重要な内容
- 難しい・読みづらい
- 親しみやすい
- 手軽に使える
- かわいいだけ?

(山崎先生の授業資料から)  
今日のテーマ

看板をつくる

- ▶ 1回作ったら長い間もつ。
- ▶ たくさんの人の目に付く。
- ▶ そこにオオサンショウウオがいることを知ってもらえる。

▶ **重要な保全活動**



出前授業の後半では、伝えたいことが伝わるデザインのし方を、演習で学びました。



〈伝えたいことをまず文字と絵にする〉



〈『伝えたいこと』と『伝える工夫』を発表〉

(13) **学級での学習6** 3月10日～ **ミッション4：解決策実施**

◎看板作り

出前授業でのデザインの学習を終え、「豊栄で、看板を見た人がオオサンショウウオに親しみを感じるには、リアルなオオサンショウウオの絵ではなく、キャラクター的なデザインをする方がよい」「オオサンショウウオがここ（豊栄）にいることを伝えるためなので、子どもからお年寄りまで親しめるデザインの方がよい」という意見が出され、デザインの方向性が決まりました。

班ごとに考えたデザインを、「遠くから見ても言いやすいことが伝わる看板になっているか」を視点に、デザインを3つに絞り、看板を作っていました。



(14) **発信4** 5月29日 **ミッション5：報告**

◎引き継ぐ活動

二代目「豊栄町環境問題探検隊（ふるさと大好き探検隊）」の新4年生に活動を引き継ぐことになり、平成26年度の活動の成果と課題を整理した「ことば」を、引継式で新4年生に伝えました。

**ミッション5 伝える・つなげる**

平成27年5月28日

引継式に向けて（平成27年度第5学年）

1 「自力で」昨年度の自分たちの活動の意味づけを行う。

○客観的に見た本校の活動の成果と課題を探る。

【方法1】自分たちが取材を受け、出演したKAMONケーブルTVの番組の分析

【方法2】中国新聞の東広島市自然研究会の会員の実践（フボウソウの巣箱掛け）の記事の分析

2 出てきた成果と課題をもとに

①学びが「ムービング・アップ」するよう、今年度第4学年に伝えていく。

②自分たちの今年度の目標を立てる。

**ミッション5 伝える・つなげる**

平成27年5月29日

引継式に向けて

「二代目探検隊の4年生に贈る言葉」にこめた思い（板書から）

1 成果

- ・深く考える力が身についた
- ・一つの問題についていろいろな角度から見ることができた
- ・難しい問題についてたくさんの解決法を考え、いくつかを試みることができた
- ・友達と協力して取り組むことができた
- ・保全活動ができた＝問題を多くの人に伝えること（使命）ができた
- ・町を深く知ることができた
- ・いろいろな人と交流・ふれあいができた
- ・他の小学生にはできない学びができた（ありがたさに気づく力）

**ミッション5 伝える・つなげる**

平成27年5月29日

引継式に向けて

「二代目探検隊の4年生に贈る言葉」にこめた思い（板書から）

2 課題・アドバイス

(1)「自分で調べる」力（教えてもらうことが多かった）

(2)解決のために、一つ一つのことを自分で進めていく力（集団での活動が多かった。）」

(3)今年の学校教育目標「ムービングUP」に合った「改良しながら向上し続ける力」



2 受け継ぎ発展させる活動（平成27年度）

(0) **出発点を確認** 5月29日

平成27年度の学校教育目標に沿って「総合的な学習の時間」を進めることを確認し、第4学年17名の2代目「豊栄町環境問題探検隊」結団式を行いました。

その際、今年度の学校教育目標が昨年度とは一部変わっているため、昨年度との違いに注意しながら、探検隊のミッション（使命）はどうなるかを確認しました。

- ミッション1：現状把握**
- ミッション2：課題設定**
- ミッション3：解決策検討**
- ミッション4：解決策実施**
- ミッション5：結果分析と改善**
- ミッション6：報告**

2代目探検隊の最初の仕事として、次時に実施する出前授業に向け、「豊栄の川について知っていること」「オオサンショウウオについて知っていること」を出し合い、探検隊の出発点を確認しました。

**豊栄小学校4年生「総合的な学習の時間」**

<b>【今年度の豊栄小学校の目標】</b>	<b>【総合的な学習の時間では】</b>
①チャンス！	➡ ①難しい問題に出合っても
②チャレンジ！	➡ ②解決するために
③チェンジ！	➡ ③ぐっと
④ムービングUP(アップ)！	➡ ④前進する！
	<b>前進しつづける！</b>

〈総合的な学習の時間の進め方〉

平成27年度 第4学年  
二代目探検隊のミッション（使命）は？

・豊栄の自然は・・・

ミッション1 今どうなっているの？（知る）

ミッション2 難しい問題とは？（知る→まとめる→考える）

ミッション3 問題解決のアイデアを生み出す。（考える）

ミッション4 できることをしてみる。（試してみる・表現する）

ミッション5 結果を整理・分析して、改善案を作り実行する。  
（振り返る・改善案実行）

**ムービング・アップ**

ミッション6 結果と今後をみんなに知らせる。  
（伝える・つなげる）

〈豊栄町環境問題探検隊のミッション（使命）〉

(1) **出前授業Ⅰ（講義）** 5月29日 **ミッション1：現状把握**

昨年度に引き続き、東広島市「生涯学習まちづくり出前講座」として、環境対策課の「川を通じて地域の環境をまなぶ」と広島大学総合博物館の清水先生の「里山のたからものオオサンショウウオの謎を探る！」を受講しました。次の出前授業の現地調査に向け、関心・意欲をもつことを目的とした、昨年度とほぼ同内容での講義・演習でした。



〈環境対策課出前授業〉



〈広島大学総合博物館出前授業〉

(2) **出前授業Ⅱ（現地調査）** 7月13日 **ミッション1：現状把握**

今年度も、昨年度と同じ地元企業がバスを手配していただき、現地調査を行うことができました。

今年度は、3部構成で、①「棕梨川の生き物採集と指標生物による川の水のきれいさの診断」、②「オオサンショウウオの観察とふれあい」、③「繁殖巣穴の観察」で行いました。

①「棕梨川の生き物採集と指標生物による川の水のきれいさの診断」授業（東広島市環境対策課）

今年度は、昨年と同じ棕梨川ですが、昨年度よりも下流で生き物採集を行いました。

1人1本ずつ網を持ち、川に入って生き物を採集しました。今年度は、昨年度よりも取れた生き物は少なかったですが、1メートル近いオオサンショウウオが網に入った児童もいました。取れた生き物は、ボランティアの方に分類していただき、指標生物の表とあわせてみて、水質を診断しました。結果は、昨年度と同じ「『きれい』から『ややきれい』の間」と診断できました。

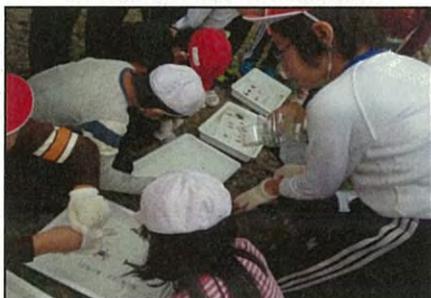
また、今年度はパックテストも行いました。このテストでも、この場所の川の水はきれいだと診断されました。



〈川の水の中の生き物採集〉



〈児童が捕まえたオオサンショウウオ〉



〈指標生物による水質診断〉



〈パックテスト体験〉

②「オオサンショウウオの観察とふれあい」授業（広島大学総合博物館 清水則雄先生）

生き物採集をした場所の近くにある堰のすぐ下で、ボランティアの方が4匹のオオサンショウウオを網で捕獲されました。児童は、合計5頭のオオサンショウウオを観察することができました。今年は1メートルを超える大きなものもいて、「わあ、おおきい」という声がたくさん上がりました。また、身長・体重を計る体験、マイクロチップリーダーで個体識別番号を読み取る体験もさせていただきました。

その後、広島大学総合博物館の清水先生が、オオサンショウウオが足の裏にけがをしている理由について話してくださいました。また、この4匹を含めて合計8頭のオオサンショウウオが、上流にある繁殖地を目指して川を上ろうとするのですが、堰を上ることができず、何年もこの堰のところにとどまっているということも話されました。



〈オオサンショウウオの観察〉



〈身長計測体験〉



〈個体識別番号の読み取り体験〉



〈足の裏のけが〉

③「繁殖巣穴の観察」授業（広島大学総合博物館 清水先生）

今年度は、川の上流に移動して、繁殖巣穴周辺の観察も行いました。

繁殖巣穴の場所に着く手前の堰の下で、岩に挟まれて瀕死のオオサンショウウオを広島大学総合博物館の清水先生が発見され、現場を児童に見せながら、状況の説明をされました。大雨で増水したときに堰を越えようとしたものの、減水して岩の間に挟まってしまい、餌もなく弱っているとのことでした。

また、この場所は広島大学総合博物館が昨年幼生調査を行った場所であることも説明されました。

その後、繁殖巣穴の付近まで移動し、児童は川沿いの道の上から、繁殖巣穴の場所・深さ等の説明を聞きました。



〈高い堰の下で瀕死のオオサンショウウオを発見〉



〈繁殖巣穴周辺の観察〉

(3) **出前授業3 (講義・演習)** 9月16日 **ミッション2：課題設定**

昨年度と同様、東広島市環境対策課と広島大学総合博物館が、現地観察会のまとめをしてくださいました。

①現地調査での「気づき」整理

児童が「気づいたこと」「感じたこと」をどんどん付箋に書いて貼っていました。

②保全取組みに向けた意欲の高揚

ブレインストーミングによりたくさんの案が出ました。今年度は、分類・整理も児童が自分たちで行い、案をまとめ発表することができました。

授業の最後に、広島大学総合博物館の清水先生から「豊栄のことが書かれたオオサンショウウオの本」として、東広島市教育委員会生涯学習部文化課発行の冊子「オオサンショウウオがいるらしい」を児童一人一人に寄贈していただきました。



〈ブレインストーミング〉



〈KJ法 分類・整理〉



〈まとめと考えた案を全体に報告〉



〈「オオサンショウウオがいるらしい」寄贈〉

(4) **学級での学習1** 10月30日 **ミッション2：課題設定**

◎基礎的な知識の確認

9月に広島大学総合博物館の清水先生からいただいた冊子「オオサンショウウオがいるらしい」を、全員で読み合わせをして、オオサンショウウオについての基本的な知識や問題を整理し、これからの学習に備えました。

豊栄小学校の取組みも紹介されており、児童は興味をもって1冊を読みきりました。



(5) 学級での学習2 11月4日 ミッション2：課題設定

◎「今年と去年の現地観察会の違うところ」整理

- ・違いを見つけ、なぜ変わったのか（改善されたのか）を考える

昨年度の現地観察会の記録映像（KAMONケーブルテレビ放送制作「豊栄小学校オオサンショウウオ観察会」）と、今年度現地観察会の記録映像（豊栄小学校職員撮影）を視聴して、共通していることと違うことを見つけ、なぜ変わったのかを児童に予想させました。主に、次のような違いを見つけ、それについて考えたことを出し合いました。

**【学習の記録から】**

- ①自然巣穴の場所を教えてもらった。

【理由】・初代探検隊が真剣に学習し、信頼されたから。

- ・広島大学の清水先生と環境対策課の池永先生が、どうしても見せたいと思ったから

【自慢】・広島県内では、自然巣穴で繁殖するのは豊栄だけ

- ・穴の長さや大きさが分かった

- ②現地調査で、地元の人の手伝いが増えた。

【理由】・初代の活動のニュースを見て、応援する人が増えたから

【自慢】・地元の人が応援してくれていることがわかった

【反省】・「してもらってばかり」という初代の反省があったのに、してもらってばかりになっている。

- ③「せき」の下でオオサンショウウオが傷ついていることを確認できた。

- ・乃美地域で4頭の傷ついたオオサンショウウオを見た。（去年は2頭）

- ・清武西地域で水がなくなって瀕死（ひんし）のオオサンショウウオを見た。

【感想】かわいそうと感じた人が多かった。（感想文から）

- ④去年の調査場所は、土砂が流れ込んでオオサンショウウオが生きられなくなっていることを知った。

- ・「せき」の問題以外にも、オオサンショウウオが生きていくのをさまたげる問題があるのを知った。

- ⑤自然巣穴での繁殖や幼生のことを教えてもらった。

- ・幼生はたくさん生まれるが、田んぼに流れて死んだり、ほかの生き物のえさになってしまったりするのを知った。

【これから】幼生を見てみたい。（4年生も5年生も見えていない。）

- ⑥特別天然記念物は「さわってはいけない」「つかまえてはいけない」というルールがあることを知った。

- ・「文化財保護法」という法律で決められているのを知った。

- ⑦自分で考えてメモを取ったり、質問をしたりすることができた。

- ・たくさんの質問をすることができた。

- ・学習のし方がひとつ身についた。

【反省】清水先生の答えをしっかりと聞いていない人がいた。



〈VTRで去年を知り、今年を振り返り〉



〈付箋を使って同じところ・違うところがし〉

(6) **学級での学習3** 11月26日 **ミッション2：課題設定**

◎県内他市の取組み（「北広島町サンちゃんS村」と「安佐動物公園」）を知り、豊栄町の特徴を整理

- ・インターネットでメディア中国制作の動画「まろう いきもの ふるさとレッドリスト」のオオサンショウウオ編を視聴し、北広島町と安佐動物公園、豊栄町の取組みの違いを見つけ、なぜ違うのかを考える
- ・平成27年11月6日付け中国新聞朝刊の地方版記事「安佐動物公園のオオサンショウウオ 過去20年最多2000個産卵」の記事を読み、安佐動物公園の研究の目的（「種の保存」 広大清水先生コメント）を読み取る

(7) **学級での学習4** 12月1日 **ミッション2：課題設定**

◎県外の取組み（島根県邑南町「瑞穂ハンザケ自然館」と邑南町）を知り、豊栄町の特徴を整理

- ・平成27年9月5日付け中国新聞朝刊の地方版記事「3年連続産卵成功 邑南の自然館 世界初」と、平成27年11月26日付け同新聞朝刊の地方版記事「ハンザケ幼生最多248匹 邑南の自然館『繁殖技術が進化』」を読み、瑞穂ハンザケ自然館・島根県邑南町と豊栄町の取組みの違いやそれぞれの特徴を見つける

(8) **学級での学習5** 12月10日 **ミッション2：課題設定**

◎豊栄町への市や県の取組み（人工巣穴設置）について調べる

- ・市環境対策課職員への電話インタビュー

学級での学習3、4を行っていくうち、児童から「豊栄町には人工巣穴はないのか」という疑問が出されました。教室にはだれも有無を知っている人がいなかったのので、どうするかを考えました。

児童は「東広島市のことなので、環境対策課の人が知っているのでは」と考え、代表が電話で質問することになりました。代表に挙手した児童は、質問原稿を作り、電話インタビューに臨みました。

【東広島市環境対策課が答えてくださったこと】

- 1 人工巣穴には、「生息巣穴」と「繁殖巣穴」がある。
- 2 豊栄には、「生息巣穴」は2か所に設置されているが、「繁殖巣穴」はない。

※人工巣穴の場所等については、電話では伝えきれないとのことで、地図と児童へのお手紙を後日、届けてくださいました。



〈代表が電話で環境対策課へ質問〉

(9) **学級での学習6** 12月16日 **ミッション2：課題設定**

◎「ふるさと大好き探検隊」の使命を見つける

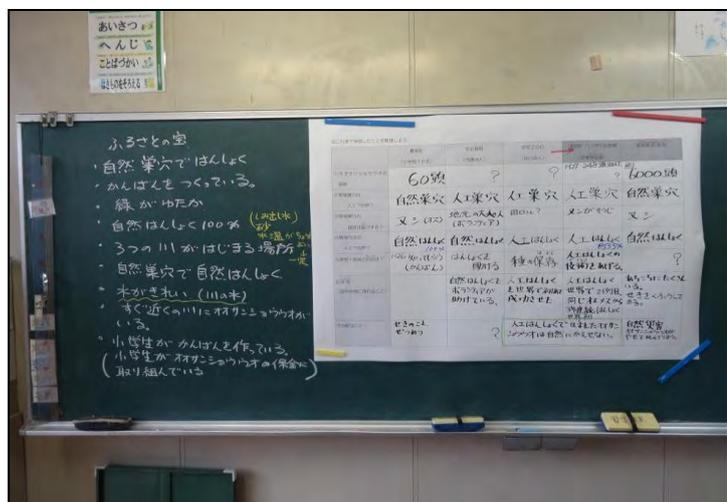
- ・これまでの学級での学習のまとめ 各地の取組みを一覧表にして、「ふるさと豊栄の宝」は何か、「探検隊の使命」は何かを考えました。

○豊栄の特徴（まとめ）

- ・孵化率が100%近い「自然繁殖巣穴」があること。（広島県内で唯一）
- ・小学生（小学校）でオオサンショウウオの保全に取り組んでいる。

○これから

人工巣穴での繁殖も大切だけど、自然巣穴を大切にしたい。



(10) **学級での学習7** 12月16日 **ミッション3：解決策検討**

◎「ふるさと大好き探検隊の『オオサンショウウオ・レポート』作成」と「グッズの作成と配付」を検討

自然繁殖巣穴での繁殖を保護していくためには、このことを知らない豊栄町内のみんなに自然繁殖巣穴で繁殖が行われていることを知ってもらわなくてはならないと考え、①初代探検隊の現5年生、②6年生、③1～3年生、④中学生、⑤高校生、⑥保護者、⑦地域の人（6つの地域センターで）の順番で、それぞれ実施後に原稿に改良を加えながら報告会を行っていくことになりました。（町内に1小学校、1中学校、1高等学校の強みを生かして。）

また、昨年度、初代探検隊が「親しみを持てるキャラクター的なデザインの看板」作りをしたことを発展させ、二代目探検隊は「オオサンショウウオをより身近に感じてもらうためのグッズづくり」をしたいと、児童から希望が出ました。

今後は、次のように進めていく予定です。

(11) **発信1** 1月の予定 **ミッション4：解決策実施** **ミッション6：報告** **ミッション5：結果分析と改善**

◎豊栄小学校5年生・6年生対象レポート発表会実施・改良（1月実施予定）

※この発表会を受けて、5年生はふるさとの環境問題に関する課題設定・調査研究を実施

【参考：5年生の総合的な学習について】

平成27年度第5学年  
「総合的な学習の時間」の目標と内容

1 目標

- (1) 調査・研究を通して、「里山」であるふるさとに対する理解を深める。
- (2) 環境・生活・文化について調査・比較等をし、自分の生き方を考える。

2 内容

◎テーマ「豊栄ふるさと探検隊  
～ふるさとに発信しよう！ふるさとから発信しよう！～」

- (1) 里山の環境（水・生き物・植物 等）を知る（情報収集）
- (2) 豊栄の課題を考える（課題設定）
- (3) 課題解決に向けた調査・研究（小グループ活動）
- (4) 解決策の決定と実施
- (5) 改善策の検討・実施
- (6) 報告・伝達・引継ぎ

(12) **発信2** 1月の予定 **ミッション4：解決策実施** **ミッション6：報告** **ミッション5：結果分析と改善**

◎豊栄中学校生徒対象レポート発表会実施・改良（予定）

(13) **出前授業Ⅱ（現地調査）** 2月頃、可能であれば実施 **ミッション1：現状把握**

◎オオサンショウウオ幼生観察会（児童から実施の希望が出た。交通費について検討中）

(14) **発信3** 2月の予定 **ミッション4：解決策実施** **ミッション6：報告** **ミッション5：結果分析と改善**

◎2月中旬「地域の方に感謝する会」でのレポート発表・改良（予定）

(15) **発信4** 2月の予定 **ミッション4：解決策実施** **ミッション6：報告**

◎町内6地域センターでの町民対象レポート発表会実施（予定）

(16) **発信5** 3月の予定 **ミッション6：報告**

◎第3代目への引継ぎ準備

⑪ 活動で工夫したことなどを記入してください。(500字程度で簡潔に)

オオサンショウウオは、文化財保護法で保護された特別天然記念物であるため、触れて観察すること等について制限の多い動物です。しかし、市役所や大学と連携することにより、許可申請がスムーズに行われ、小学生の学習が可能になると同時に、小学校児童や職員にとっての人的ネットワークの拡大にもつながり、学習の広がり・深まりが生まれました。

平成26年度は、学習の1年目として出前講座で専門家に直接学ぶ機会をいただき、児童は学んだことから豊栄町の課題を整理し、課題解決につながることを自分たちでできる活動を考えました。この学びの成果を、日本オオサンショウウオ全国大会で発表する機会もいただき、全国や地域に発信していくことができ、その結果、豊栄小学校児童の活動に協力してくださる地域の方や地元企業が出てきました。

平成27年度は、初代探検隊から2代目への引継式を行い、活動がつながりました。市と大学には、1年目の成果を踏まえ、レベルアップした出前講座を行っていただきました。レベルアップの内容と理由を児童が自分たちで考えることにより、自分たちに求められている活動を整理し、使命感をもって取り組みました。また児童は、県内外の他地域の状況や取組みを調べ、豊栄町と比較することで、本町の環境問題の特徴を理解し、それに合った保全活動の内容を考えることができました。

⑫ この活動を通して、指導者から見た子どもたちの意識の変化、行動の変化などがあれば記入してください。

(500字程度で簡潔に)

平成26年度末に行った児童アンケートの結果、「ふるさとに誇れるものがある」の問いに100%の児童が肯定的な回答をしています。「里山のたからものオオサンショウウオを守ろう」という気持ちをもつことはもとより、ふるさとの自然の中で環境保全に努めながら生活していこうとするアイデンティティの確立した姿が当たり前になったように感じます。

初代から2代目への引継式では、初代から「自分たちの活動を引き継ぎ、発展させてほしい」と誇りをもって伝える姿が見られ、2代目は初代の気持ちを引き継ぎ、出前授業で講師の先生に質の高い数多くの質問をし、ふるさとの自然に関心を持ち、守っていこうという気持ちが高まっていることを感じました。

この問題解決の経験をととして、新聞記事やテレビニュース・番組に接して情報を得たときには、「多角的に物事を捉えて検討し、解決方法を探る」という姿勢が定着してきており、初代探検隊の児童は、「活動をととしてそういう姿勢がもてるようになったこと」を自分の言葉で2代目に伝えていました。

初代から2代目、その次の代への「たてのつながり」を意識して伝えようとするようになってきていることと、小学校から中学校、地域へと活動の「広がり」がもてていることを感じ、保全活動に誇りをもつようになってきていると感じています。

⑬ この活動を通して生まれた、地域との新たなつながりや新たなアクションがあれば記入してください。

(500字程度で簡潔に)

現地観察会については、平成26年度は広島大学から多くのボランティアを得て実施でき、地元大学と小学校とのつながりが強まりました。平成27年度は、町内の自然研究者や市内の自然研究会の方の多くのボランティアを得て観察会を実施でき、地域としての保全活動の盛り上がりが見られています。

そのほか、小学生の環境学習を応援して下さる地元企業が、現地観察会で学校から現地まで移動をするためのバスを手配してくださっているおかげで、2年連続で実施できています。

また、児童の興味・関心の広がりや深まりをしっかり受け止めてくださる東広島市役所と広島大学総合博物館の皆様のおかげで、「看板作りは保全活動になるのか・看板の作り方」や「オオサンショウウオの幼生観察会」など、新たな出前授業の形が創造され、児童にとっては、自然保護について考え学ぶに止まらず、生き方を考える学びにつながっています。

このような恵まれた教育環境にあることに感謝して、昨年度から毎年2月には「地域の皆様に感謝する会」を開催し、その中で研究発表を行うなどして、地域に貢献していくことを目指し、活動を続けています。

※子ども発表者については、決まっていない場合、記入しなくても構いません。

⑭ -1. 選考された場合の発表者(子ども2名)の氏名・学年

氏名:	ふりがな:	学年:
氏名:	ふりがな:	学年:

-2. 選考された場合の大人の登壇者(1名)の氏名・所属

氏名:		
-----	--	--

※この用紙には活動に参加した子どもたちが自由に書いてください。



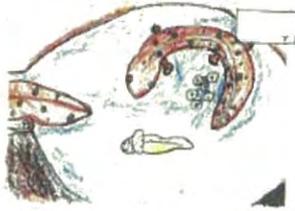
# 2015 こどもホタレンジャー報告書

活動して「気付いたこと、感じたこと、考えたこと」などを、みんなで話し合っ  
自由に報告してください。写真や絵などでもOKです。

川を大切に  
ホタレンジャー  
守ろうしよう!!!



オオサンショウウオを  
守りたい



守ろう!川の王 豊栄の川  
様と幼生



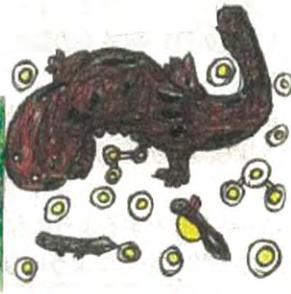
豊栄の川  
守りたい!!!



オオサンショウウオを  
守りたい!!!



オオサンショウウオを  
いっぱい見たい。



川をきれい  
にしていこう!



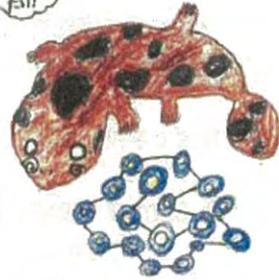
いっぱいお水で  
川をきれいに  
しよう!



幼生を  
守り続けたい



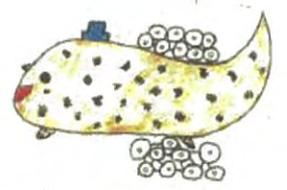
豊栄町 宝物  
オオサンショウウオ



オオサンショウウオを  
増やそう!



オオサンショウウオ  
をこれから先も守  
りたい!



オオサンショウウオを  
ふやしたい。



全国の人に  
伝えよう!



オオサンショウウオを  
見たい!!!



ようせいをいっぱい  
見たい!!!

